

【17】再建格解説

1. 格法の考え方

日干を中心に宿命を五行の流れでみます。

日干が火の丙または丁とします。

水	木	火	土	金
官	印	福	生	財

という流れです。宿命が過去に片寄っているのか、未来に片寄っているのか、現在に片寄っているのかで判別して、完全格を判定致します。

【過去に片寄った宿命】

・相生格、・殺印相生格、・従官格

【未来に片寄った宿命】

・従生格、・従生財格、・従財格

【現在に片寄った宿命】

・一気格、・一気成因格、・一気洩気格

・【二代過去】 = 【車騎・牽牛】 【官】・・・従官格

従官格と相生格の混在・・・殺印相生格

・【一代過去】 = 【竜高・玉堂】 【印】・・・相生格

一気格に一点の印星が混在する・・・一気成因格

・【現在】 = 【日干】 【福(貫索・石門)】・・・一気格

一気格に一点の生星が混在する・・・一気洩気格

・【一代未来】 = 【鳳閣・調舒】 【生】・・・従生格

従生格と従財格の混在・・・従生財格

・【二代未来】 = 【録存・司録】 【財】・・・従財格